副 産 物 情 勢

3月14日 更新　　Ｊ Ａ全農ミ ート フーズ株式会社

項 目		内 容
内臓	1.国産牛	○ 令和4年12月の成牛と畜頭数は、98.6千頭(前年比101.3%)と前年を上回った。 内訳を見ると、和牛:46.9千頭(前年比99.1%)、交雑牛:23.0千頭(同107.8%)、乳牛去勢:11.2千頭(同90.1%)となった。 ○ 1月の成牛と畜頭数は、速報値(1月31日まで集計)で84.7千頭(前年比104.1%)と上回った。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(1月26日公表)によると、1月の出荷頭数は、和牛および乳用種が減少するものの、交雑種で増加が見込まれることから、 前年同月を上回ると予測する。2月は、全品種で出荷頭数の増加が見込まれることから、前年を上回ると予測する。 (1月83.9千頭(前年比102.7%)、2月83.4千頭(前年比107.1%)) そのため、3か月平均(令和4年12月～2月)では、出荷頭数91.7千頭(前年比106.9%)、生産量29.3千ﾄﾝ(同107.5%)と前年を上回る予測となっている。 ○ 需 給 動 向 ： 旺盛な引き合いから落ち着きは見せ始めているが、外食業態の鍋物需要や焼肉需要に加えて輸入原料の品不足等により一定の引合いがある。
	2.国産豚	○ 令和4年12月の全国肉豚出荷頭数は、1,462千頭(前年比96.8%)と前年を下回った。 地域別出荷頭数(数値は前年同月比);北海道101.2%、東北100.0%、関東95.9%、北陸甲信越93.7%、東海96.7%、近畿97.6%、中四国97.5%、九州・沖縄95.2% ○ 1月の全国と畜頭数は、1,383千頭(速報値1月31日まで集計、前年比96.7%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年同様で、1日当たりの平均と畜頭数は69,605頭(前年実績:75,245頭/日、前年差△5,640頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;1月24日付け)によると、2月;1,323千頭(前年比99%)、3月;1,451千頭(同97%)、 4月;1,366千頭(同99%)、5月;1,326千頭(同100%)、6月;1,308千頭(同98%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約98%と前年を下回る。 ○ 需 給 動 向 ： と畜頭数の減少やと畜場での人手不足の影響により供給量は減少しているが、多様なチャネルで豚内臓メニューが増加していることにより需要は拡大傾向にある。 但し、原料不足や価格高騰によりユーザーが国産豚内臓を使用しづらくなっている。 豚足や豚耳は燃料費高騰の影響を受けて製造調整をしていると畜場が出てきている。
	3.輸入牛	○ 令和4年12月の輸入通関実績は、全体で37.4千ﾄﾝ(前年比81.9%、前月比94.9%)と下回り、内訳ではチルド;15.5千トン(前年比74.3%、前月比87.6%)、 フローズン;22.0千ﾄﾝ(前年比88.3%、前月比100.8%)となった。輸入相手国別では、チルドが入船遅れ等によりニュージーランドを除き減少したため大きく下回った。 一方でフローズンは、米国からのショートプレートは依然堅調だが、入船遅れ等により他国からの輸入が減少したため下回った。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、1月、2月の輸入量は、国内需要の低下や為替の影響等から、チルド・フローズンともに下回ると見込んでいる。 3か月平均でも、チルド・フローズンともに前年同期を大きく下回ると見込んでいる。 令和5年1月　　合計;37.3千ﾄﾝ(前年比92.3%)、チルド;15.3千ﾄﾝ(同93.8%)、フローズン;22.0千ﾄﾝ(同91.5%) 令和5年2月　　合計;34.9千ﾄﾝ(前年比92.4%)、チルド;15.0千ﾄﾝ(同91.4%)、フローズン;19.9千ﾄﾝ(同93.2%) ○ 輸入牛内臓実績(令和5年1月)： 牛腸(冷凍)　　;1,234.7ﾄﾝ(前年比105.8%・前月比104.6%)　国別実績;米国1,025.2ﾄﾝ、メキシコ155.8ﾄﾝ、豪州52.2ﾄﾝ、パナマ1.5ﾄﾝ 牛レバー(冷凍);　61.8ﾄﾝ(前年比241.1%・前月比70.1%)　国別実績;米国28.9ﾄﾝ、豪州20.5ﾄﾝ、メキシコ8.4ﾄﾝ、ニュージーランド4.0ﾄﾝ
原皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 1 月)： 37,788枚(前年比93.1%、前月比83.4%) 国別実績;タイ23,928枚(前年比100.3%)、韓国11,430枚(同224.3%)、ベトナム1,830枚(同15.7%)、インド600枚(同なし) 輸出平均価格(令和5年1月)： 2,359円/枚(前年差△618円、前月差△64円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 5 年 1 月)： ウェットブルー7,986枚※(前年比63.9%、前月比157.9%)、牛大判皮45,689枚(同140.3%、同136.8%)　※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和5年1月)： ウェットブルー7,372円/枚(前年差＋412円、前月差△488円)、牛大判皮7,798円/枚(同△467円、同△182円) ○ 海 外 情 勢 ： 欧州・中国等の皮革製品需要に対して、海外タンナーの革・ウェットブルー在庫が過剰であり、特に品質低級原皮の価格水準は厳しいものとなっている。 ○ 国 内 情 勢 ： 皮革製品需要の伸び悩み等により、キズ・穴あき等がある原皮は、タンナーで在庫になるリスクが高いため嫌がられる傾向が強まっている。
	2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 1 月)： 917,120枚(前年比90.6%、前月比74.2%) 国別実績;タイ681,420枚(前年比94.2%)、カンボジア126,500枚(同57.6%)、ベトナム80,900枚(同155.0%)、韓国28,300枚(同159.0%) 輸出平均価格(令和5年1月)： 354円/枚(前年同月差△147円、前月差△43円) ○ 需 給 動 向 ： 主要用途である靴のライニング(肌に接する裏地)需要は、革靴の消費低迷等により、依然として回復していない。 また、中国のゼロコロナ政策により革の荷動きが停滞したこと等も加わり、世界シェア約70%の日本産原皮でも海外タンナーとの価格交渉は厳しい状況となっている。
レンダリング	1．油脂等	○ 国 産 食 用 加 工 油 脂 向 け 価 格 (2 月 渡 し)： 牛脂175円/kg(前年差＋30円、前月差±0円)、豚脂175円/kg(同＋35円、同±0円) 牛脂はレトルトルゥ等のユーザーが植物油脂に切替を進めたことや製品需要が落ち着いたことにより一部地域で余剰感は出ているが、 豚脂は燃料用輸出需要やエキス需要等の他業界からの引き合いが旺盛なため堅調な荷動きをしている。 ○ マ レ ー シ ア 産 パ ー ム 油 相 場 (1 月)： 148円/kg(前年差△50円、前月差△1円) 1月生産量は138万トン(前月比85.3%)、月末在庫は226万トン(同103.3%)となった。インド・中国向け輸出が伸び悩んでいるが、 インドネシアの輸出規制や減産期、シカゴ大豆油高やマレーシアでの洪水懸念等が相場を下支えしている。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (2 月)： 144円/kg(前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (2 月)： 115円/kg(前月差＋0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(2月)： 143円～146円/kgあたり(前月差±0円)

備　考

1.東京市場内臓価格　単位:円/枝肉kg

価格改定年月日	牛内臓	豚内臓
令和3年4月 1日	35	7
令和3年4月 26日	25	5
令和3年10月 18日	35	7
令和4年2月7日	25	5
令和4年4月4日	35	7
令和4年8月8日	45	9

※乳牛も同様45円/kg　　＊豚正貫物

2.大阪市場内臓価格　単位:円/枝肉kg

価格改定年月日	牛内臓	豚内臓
令和3年3月 11日	35	4
令和3年4月19日	25	3
令和3年10月 15日	35	4
令和4年2月1日	25	4
令和4年3月28日	35	4
令和4年8月1日	45	5

3.東京市場原皮価格　＊交雑牛含む　単位:円/枚

価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮
平成31年1月5日	1,000	30
令和元年7月22日	700	10
令和2年3月16日	500	10
令和2年6月15日	100	10
令和2年7月20日	100	2
令和2年9月28日	10	2
令和3年5月24日	10	10

4.大阪市場原皮価格　＊交雑牛含む　単位:円/枚

価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮
令和元年7月16日	1,000	30
令和元年8月15日	1,000	10
令和2年3月16日	800	10
令和2年6月22日	300	10
令和2年7月27日	300	2
令和2年9月28日	10	2
令和3年6月1日	10	10

5. 食用加工油脂価格　単位:円/kg

価格改定年月日	牛脂	豚脂
令和3年10月1日	105	100
令和3年12月1日	115	110
令和4年1月1日	145	140
令和4年3月1日	155	150
令和4年4月1日	175	170
令和4年7月1日	195	190
令和5年1月1日	175	175